



IAEA 主催「原子力発電計画における広報・理解促進活動に関する技術会合」 が開催されました

福井県と IAEA（国際原子力機関）は、平成 25 年 10 月に締結した覚書に基づき、原子力発電、原子力安全及び原子力科学・応用分野における人材育成活動を協力して推進しています。この活動の一環として、平成 27 年 10 月 5 日から 9 日にかけて、「原子力発電計画における広報・理解促進活動に関する技術会合」を福井県国際交流会館にて開催しました。

本会合は日本で初めての開催で、日本を含む 23 カ国から、政府関係者、電力事業者ら約 60 人が参加しました。原子力発電計画に対する利害関係者や住民への理解促進活動をテーマに、原子力発電導入を目指す国などに対し、日本など原子力発電所を有する国の事例や経験を伝え、原子力の国民理解や情報共有のあり方などについて議論しました。

具体的には、日本側から、福島第一原子力発電所事故での教訓や小中学校での放射線教育、福島県民の事故経験等に関するスピーチを行ったほか、参加国からの原子力発電計画等に関するスピーチ、討論会を行いました。また、「エネ研」、「美浜発電所」、「あっとほうむ」及び「福井県原子力環境監視センター」を視察し、参加者は住民理解のための実践例を学びました。

参加者からは「講義、施設見学および討論会の全てが非常に興味深く、役に立つ内容であった」、「参加各国の状況に加え、原子力に関する日本の状況と取組みについて多くを学ぶことができ良かった」といった感想や、技術会合の運営や参加者へのきめ細かな対応に関する御礼の声がありました。



IAEA 人材育成専門官
ティガー・シュェット氏



福井県 杉本副知事



会合参加者

【海外研修生受入事業】広報・理解活動(PA)コースを開催しました

エネ研の福井県国際原子力人材育成センターでは、国内はもとよりアジアをはじめとする世界の原子力の安全技術と人材育成に貢献するための活動を進めています。この活動の一環として、平成 27 年 10 月 12 日から 16 日にかけて、ベトナム電力公社の広報関係の担当者 8 名を研修生として受入れ、広報・理解活動(PA)コースを開催しました。

本研修は、ベトナムにおける原子力発電の導入にあたり、広報関係者に必要となる知識を習得するための講義、施設見学、討論会並びに実習を行う内容となっています。今年度は、ベトナム電力公社からの意見を踏まえて、カリキュラムを大幅に見直し、メディア・トレーニング（報道関係者への対応・訓練）に関する実習や「原子力発電に関するコミュニケーション」に関する講義を実施しました。

研修最終日には、今回の研修で習得した知識を研修生各自が業務にどう活かすかということについて討論し、発表しました。

どの研修生も課題を持って研修に参加し、今後のベトナムにおける原子力発電の広報・理解活動の発展に向け、熱心に受講していました。



あっとほうむ見学



メディアトレーニングの様子

RADIEX2015 in Fukushimaに出展しました

平成27年10月15日から16日にかけて、福島県の郡山カルチャーパークで、環境放射能対策・廃棄物処理国際展「RADIEX2015 in Fukushima」が開催され、38社・団体が出展し、来場者2,041名を迎えました。

エネ研では、レーザー除染機、従来より通気性を100倍向上させた身体汚染防護服、県内企業がエネ研の支援事業を活用して開発した新製品等を展示・紹介しました。

特に、来場者の皆さんは、レーザー除染に高い関心を示し、エネ研職員がレーザー除染機の原理や競合する他の除染方法に対する優位性等について説明しました。

また開催期間中には、「中間貯蔵と廃炉へ向けた環境放射能対策」をテーマとしたフォーラムが開催され、エネ研の研究開発や産業支援等に関する取り組みを発表しました。



エネ研紹介ブースの様子



フォーラムでの発表の様子

SSH科学実験研修が行われました(高志高校)

平成27年9月30日に、SSHの指定校である高志高校の科学実験研修がエネ研で行われました。理系の2年生が38名参加し、研究テーマごとに最先端機器を使った科学実験を行い、その実験結果をホールで発表しました。

研修テーマ	エネ研講師
環境水等に含まれる微量金属分析	遠藤研究員
プログラミングと近似計算の基礎	西尾研究員
電子顕微鏡によるミクロ組織の観察	安永研究員
蛍光X線分析の基礎と応用	鈴木研究員
アルデヒド脱水素酵素の遺伝子型判定	田中研究員
金属の蒸発と薄膜生成実験	石神研究員
蛍光多重染色による細胞分裂像の観察	高城研究員 畑下研究員

<SSHとは>

SSHは、Super Science High Schoolの略(文部科学省の事業)。SSHの指定校は、「科学技術系人材の育成」を目的に、大学や研究機関等と連携し、高校の学習指導要領によらない発展的な内容を学んでいます。



実験の様子



発表の様子

～ 高志高校の先生から寄せられた感想 ～

研究員の先生方の御指導のもと、一日の実習に取り組ませていただき、ありがとうございました。

「研究者になりたいという夢がより強くなった」「発表会では積極的に質問が飛び交い、とても楽しかった」などの声が聞かれ、生徒にとって大変充実した研修となりました。課題研究をはじめとする今後の学習に活かせるよう取り組んで参りたいと思います。

